

会議概要（要点記録）

1	会議名	南あわじ市子ども・子育て会議（第7回）
2	開催日時	平成27年3月3日（火）午後1時25分～午後2時55分
3	開催場所	緑庁舎 2階 第3会議室
4	出席者	<p>&lt;委員&gt; 南あわじ市子ども・子育て会議 委員10人（3人欠席）</p> <p>&lt;事務局&gt; 少子対策課長、同課長補佐、同主査</p> <p>&lt;オブザーバー&gt; 教育部次長、学校教育課長、生涯学習文化振興課課長、福祉課主幹、健康課長</p> <p>&lt;関係人&gt; 事業計画策定業務委託業者</p>
5	配付資料	<p>資料1 「南あわじ市子ども・子育て支援事業計画（素案）」に対する市民意見募集の結果</p> <p>資料2 計画素案（第6回会議 H27.1.6）からの主な修正点</p>
6	会議の概要	<p>1 開 会 少子対策課長が開会 戸江会長があいさつ、進行。</p> <p>2 議 題</p> <p>(1) 南あわじ市子ども・子育て支援事業計画（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「南あわじ市子ども・子育て支援事業計画（素案）」に対する市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について（資料1）</li> </ul> <p>市民意見募集の結果について、3人からの提出があった旨報告。意見内容を精査し、内容別に9件とする市の対応区分について、事務局から資料により順に説明。</p> <p>委 員：異議なし。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な修正点について（資料2）</li> </ul> <p>計画素案（第6回会議 H27.1.6）からの主な修正点について、事務局から資料により順に説明。</p> <p>委 員：放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）の修正点、3か所整備することをめざすとあるが、具体的には？</p> <p>事務局：榎列、八木、北阿万の3か所を予定している。</p> <p>会 長：その他、修正点に対する意見は？</p> <p>委 員：異議なし。</p> <p>会 長：27年3月で事業計画確定版の製本をすすめていく。全体を通しての意見は？</p> <p>会 長：P56 に記載の(12)実費徴収に係る補足給付を行う事業【新規】、(13)多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業【新規】について補足説明をしてほしい。</p> <p>事務局：新規であることから、現在は計画に記載している内容のとおり。(12)は、低所得世</p>

帯対象の事業で、生活保護世帯を対象に教材費、給食費の2種について検討されている。(13)は、特定教育・保育施設等への民間事業者の参入を促進するための事業。

委員：神戸市の例を挙げると、事業所と利用者（3～5歳児）の全体の受給バランスは取れている状況。

会長：他にご意見等は？

委員：異議なし。

## (2) その他

平成27年度利用者負担額（3～5歳児保育料無料化）について、オブザーバー兼説明員（福祉課主幹）から概要説明。オブザーバー（学校教育課長）から補足説明。

委員：幼稚園について、16時までは無料か。

事務局：そのとおり。これまでの午後保育は廃止し、幼稚園型一時預かりとして実施する。

委員：新聞で、3歳以上の無料化が大きく報道された。すべて無料か。

事務局：給食費はこれまでどおり保護者負担。公立保育所では延長保育、一時保育は有料となる予定。予算措置を含めて3月議会で審議中である。

委員：議会に出産祝金、入学祝金廃止議案が上程されていることと、パブリックコメントNo.8にある結婚・妊娠・出産・育児に至る切れ目のない支援…の方向性に矛盾を感じる。

事務局：今後の重点施策を一時金支援から育児支援にシフトしていくこととした市の総合的判断にご理解をいただきたい。

委員：1号認定（認定こども園）の無料化の内容は？私立幼稚園の場合は？

事務局：市の基準以内の額については、無料。超える部分については、負担が必要。

会長：新聞報道が印象的だったが、早めに適正な情報提供が必要と思われる。

## 3 閉会 高田副会長あいさつ